

授業科目	看護形態学		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	本校専任教員					
科目目標	1. 解剖学と生理学を学ぶ意味がわかる。 2. 人体の部位や位置・方向を示す用語がわかる。 3. 生活行動を形成する諸器官の名称およびしくみがわかる。 4. ホメオスターシスの概念や重要性がわかる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	生きていることとは（看護形態学を学ぶ意味） 人体の区分と名称	講義	専任教員	
	2	2	動く①（骨格・筋・神経系）	講義		
	3	2	動く②	講義・演習		
	4	2	食べる①（消化器系）	講義		
	5	2	食べる②	講義・演習		
	6	1	トイレに行く（泌尿器系）	講義		
	7	2	息をする①（呼吸器・循環器系）	講義		
	8	1	息をする②	講義・演習		
	9	1	終講試験	講義・試験		
評価方法	筆記試験＋課題 あわせて100点					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 佐藤達夫監修：新版からだの地図帳 講談社					

授業科目		病理学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（病理科）					
科目目標		1．疾病理解の基礎となる病因ならびに病態と病変の特徴について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
	1	2	看護と病理学 病気の原因	講義	病理科医師		
	2	2	細胞の障害と適応	講義			
	3	2	細胞・組織の修復と創傷治癒 炎症	講義			
	4	2	循環障害	講義			
	5	2	播種性血管内凝固症候群	講義			
	6	2	免疫	講義			
	7	2	移植と再生医療	講義			
	8	2	感染症	講義			
	9	2	代謝障害	講義			
	10	2	老化と死	講義			
	11	2	先天異常	講義			
	12	2	遺伝子異常	講義			
	13	2	腫瘍の分類 悪性腫瘍の広がり と 影響	講義			
	14	2	腫瘍の発生病理	講義			
	15	1	まとめ	講義			
	16	1	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔1〕病理学 医学書院					

授業科目		人体の構造機能と疾病論Ⅰ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（消化器内科） 医師（腎臓内科） 医師（泌尿器科）					
科目目標		1. エネルギーの取り込みから排泄に関与する人体の構造・機能について理解する。 2. エネルギーの取り込みから排泄に関与する構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
消化器	1	2	消化器系器官の構造		講義	消化器 内科医師	
	2	2	栄養の消化・吸収		講義		
	3	2	消化器疾患の診断に必要な情報		講義		
	4	2	上部消化管疾患		講義		
	5	2	下部消化管疾患		講義		
	6	2	肝・胆・膵疾患		講義		
腎臓	7	2	腎臓の構造と機能		講義	腎臓内科 医師	
	8	2	腎臓病の症状		講義		
	9	2	腎臓病に関する検査		講義		
	10	2	腎臓病の分類と代表的疾患		講義		
	11	2	慢性腎不全と急性腎不全		講義		
	12	2	腎代替療法		講義		
泌尿器	13	2	尿路・膀胱の構造と機能		講義	泌尿器科 医師	
	14	2	泌尿器の代表的疾患		講義		
	15	2	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点（消化器 45 点、腎臓 40 点、泌尿器 15 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院					

授業科目		人体の構造・機能と疾病論Ⅱ		単位数	2	時間数	45
担当講師 (実務経験)		医師 (血液内科) 医師 (循環器内科) 医師 (腫瘍内科)					
科目目標		1. 循環・呼吸に関与する人体の構造・機能について理解する。 2. 循環・呼吸に関与する構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
血液・造血器	1	2	血液の成分と機能	講義	血液内科 医師		
	2	2	造血器系器官の構造と機能①	講義			
	3	2	造血器系器官の構造と機能②	講義			
	4	2	貧血	講義			
	5	2	造血器腫瘍の分類と代表的治療法	講義			
	6	2	多発性骨髄腫	講義			
	7	2	出血性疾患	講義			
	8	1	終講試験	試験			
循環器	9	2	心臓血管系器官の構造と機能	講義	循環器 内科医師		
	10	2	循環器疾患の症状と検査	講義			
	11	2	肺高血圧と先天性心疾患	講義			
	12	2	冠動脈疾患	講義			
	13	2	動脈・静脈疾患と高血圧	講義			
	14	2	心不全・弁膜症・心筋症	講義			
	15	2	不整脈	講義			
	16	1	終講試験	試験			

呼吸器	17	2	呼吸器系器官の構造	講義	腫瘍内科 医師
	18	2	呼吸調節と換気運動、ガス交換	講義	
	19	2	呼吸不全と酸素療法	講義	
	20	2	呼吸器感染症	講義	
	21	2	気道疾患	講義	
	22	2	肺腫瘍	講義	
	23	2	間質性肺疾患	講義	
	24	1	終講試験	試験	
評価方法		筆記試験：血液・造血器 100 点 循環器 100 点 呼吸器 100 点			
評価基準		血液・造血器、循環器、呼吸器の合計点の平均点が 60 点以上で合格			
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野	人体の構造と機能〔1〕解剖生理学	医学書院	
		系統看護学講座 専門分野	成人看護学〔2〕呼吸器	医学書院	
		系統看護学講座 専門分野	成人看護学〔3〕循環器	医学書院	
		系統看護学講座 専門分野	成人看護学〔4〕血液・造血器	医学書院	

授業科目		人体の構造・機能と疾病論Ⅲ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（整形外科） 医師（皮膚科） 医師（耳鼻咽喉科） 医師（眼科） 医師（口腔外科）					
科目目標		1. 情報の需要と行動に関与する骨格・筋肉系ならびに皮膚・感覚器系の構造・機能について理解する。 2. 骨格・筋肉系ならびに皮膚・感覚器系の構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容		授業方法		担当講師
骨格・筋肉	1	2	骨格・関節の構造と機能		講義		整形外科 医師
	2	2	筋肉の構造と機能		講義		
	3	2	骨折～総論		講義		
	4	2	骨折～各論		講義		
	5	2	変形性関節症		講義		
	6	2	脊椎疾患		講義		
皮膚	7	2	皮膚の構造と機能		講義		皮膚科 医師
	8	2	皮膚疾患		講義		
耳鼻	9	2	耳鼻咽喉の構造と機能		講義		耳鼻咽喉科 医師
	10	2	耳鼻咽喉疾患		講義		
眼	11	2	眼の構造と機能		講義		眼科医師
	12	2	眼疾患		講義		
口腔	13	2	口腔・歯の構造と機能		講義		口腔外科 医師
	14	2	口腔疾患		講義		
	15	2	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点（骨格・筋肉 44 点、皮膚 14 点、口腔 14 点、耳鼻 14 点、眼 14 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座	専門基礎分野	人体の構造と機能〔1〕解剖生理学	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔10〕運動器	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔12〕皮膚	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔13〕眼	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔14〕耳鼻咽喉	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔15〕歯・口腔	医学書院		

授業科目		人体の構造・機能と疾病論Ⅳ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（脳神経外科） 医師（脳神経内科）					
科目目標		1．情報の受容と行動に関与する脳・脊髄の中枢・末梢神経の構造・機能について理解する。 2．脳・脊髄の中枢・末梢神経の構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
脳・神経の構造と機能 脳疾患	1	2	中枢神経系・末梢神経系の構造と機能	講義	脳神経外科 医師		
	2	2	脳・脊髄の保護構造と循環系 運動機能と感覚機能	講義			
	3	2	脳・神経疾患のおもな症状と病態生理	講義			
	4	2	脳・神経疾患の診断に必要なおもな検査	講義			
	5	2	脳血管障害①	講義			
	6	2	脳血管障害②	講義			
	7	2	脳腫瘍	講義			
	8	2	頭部外傷	講義			
	9	2	脳脊髄液の異常	講義			
脳神経内科疾患	10	2	末梢神経障害	講義	脳神経内 科医師		
	11	2	脳・神経系の感染症	講義			
	12	2	認知症	講義			
	13	2	筋疾患・神経筋接合部疾患	講義			
	14	2	脱髄・変性疾患	講義			
	15	2	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点（脳・神経の構造と機能 脳疾患 70 点、脳神経内科疾患 30 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳・神経 医学書院					

授業科目		人体の構造・機能と疾病論Ⅴ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（糖尿病・内分泌内科） 医師（産婦人科） 医師（乳腺外科） 医師（泌尿器科）					
科目目標		1．生体機能の調整および生殖に関与する人体の構造・機能について理解する。 2．生体機能の調整および生殖に関与する構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
内分泌・代謝	1	2	内分泌系器官の位置と構造		講義	糖尿病 内分泌 内科医師	
	2	2	内分泌系調節の特徴		講義		
	3	2	視床下部・下垂体疾患		講義		
	4	2	甲状腺疾患・副甲状腺疾患		講義		
	5	2	副腎疾患・性腺疾患		講義		
	6	2	糖尿病の病態と分類・診断		講義		
	7	2	糖尿病の食事療法		講義		
	8	2	糖尿病の運動療法・薬物療法		講義		
	9	2	糖尿病の合併症		講義		
女性生殖器	10	2	女性生殖器官の構造と機能		講義	産婦人科 医師	
	11	2	女性生殖器官のおもな疾患		講義		
乳癌	12	2	乳腺の構造と乳がん		講義	乳腺外科 医師	
生殖器 男性	13	2	男性生殖器官の構造と機能		講義	泌尿器科 医師	
	14	2	男性生殖器官のおもな疾患		講義		
	15	2	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点（内分泌 65 点、女性生殖器 14 点、乳がん 7 点、男性生殖器 14 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座	専門基礎分野	人体の構造と機能〔1〕解剖生理学	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔6〕内分泌・代謝	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔8〕腎・泌尿器	医学書院		
		系統看護学講座	専門分野	成人看護学〔9〕女性生殖器	医学書院		

授業科目		精神の機能と疾病		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		非常勤講師（精神看護経験有） 医師（心療内科・精神科医師）					
科目目標		こころの機能と構造を理解し、発達危機や状況的危機がこころに及ぼす影響を理解する。また精神疾患についての症状・治療を理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
心の構造と機能	1	2	こころのはたらき		非常勤講師		
	2	2	自我の機能				
	3	2	こころの仕組みと人格の発達 （精神力動理論）				
	4	2	ライフサイクルとアイデンティティ				
	5	1	対象関係論、愛着理論				
	6	2	人間と集団				
	7	2	精神療法				
精神疾患と治療	8	2	精神症状の種類と病態		医師		
	9	2	統合失調症				
	10	2	気分障害				
	11	2	神経症障害				
	12	2	摂食障害・睡眠障害・物質関連障害・てんかん				
	13	2	パーソナリティ障害 神経発達障害				
	14	2	器質性精神障害 せん妄				
	15	2	認知症				
		1	試験 45 分				
評価方法		筆記試験 100 点（心の構造と機能 40 点、精神疾患と治療 60 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕精神看護の基礎 医学書院					

授業科目		人体の成長発達と疾病		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（小児科） 非常勤講師					
科目目標		1．小児各期の形態的成長・機能的発達・精神運動器能・心理・社会的発達について理解する。 2．小児期特有の疾病の病態・検査・治療について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
人体の構造・機能	1	2	成長・発達の原則 発達理論	講義	非常勤講師		
	2	2	新生児期・乳児期の成長と発達①	講義			
	3	2	新生児期・乳児期の成長と発達②	講義			
	4	2	幼児期の成長と発達①	講義			
	5	2	幼児期の成長と発達②	講義			
	6	2	学童期・思春期の成長と発達	講義			
	7	3	発育の評価 まとめ	講義			
主な疾患の病態・検査・治療	8	2	先天異常・低出生体重児の疾患	講義	小児科 医師		
	9	2	若年性関節リウマチ・アトピー性皮膚炎	講義			
	10	2	麻疹・風疹・水痘、流行性耳下腺炎	講義			
	11	2	気管支喘息・肺炎・細気管支炎・川崎病	講義			
	12	2	ファロー四徴症・腸重積・紫斑病	講義			
	13	2	神経細胞腫・白血病・ネフローゼ症候群	講義			
	14	2	てんかん・脳性麻痺・先天性股関節脱臼	講義			
	15	1	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点（人体の構造機能 50 点、主な疾患の病態・検査・治療 50 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院					

授業科目		特殊治療学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		医師（放射線科） 医師（放射線治療科） 医師（麻酔科） 医師（消化器外科） 医師（心臓血管外科） 医師（呼吸器外科）					
科目目標		1．放射線診断と放射線治療について理解する。 2．麻酔の特徴と治療法について理解する。 3．手術療法と手術侵襲に対する生体反応および機序を理解する。					
	回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
診断 放射線	1	2	X 線と CT 画像診断について		講義	放射線科 医師	
	2	2	MRI、超音波検査、核医学検査、IVR について		講義		
治療 放射線	3	2	放射線治療の原理と種類、正常組織の有害反応		講義	放射線治 療科医師	
	4	2	放射線治療各論		講義		
麻酔	5	2	全身麻酔と局所麻酔		講義	麻酔科 医師	
	6	2	麻酔によるペインコントロール		講義		
手術療法 開腹術	7	2	術前検査と術前管理		講義	消化器外科 医師	
	8	2	手術侵襲に対する生体反応の機序と経過		講義		
	9	2	術後管理		講義		
	10	2	肝胆膵手術		講義		
	11	2	上部消化管手術		講義		
	12	2	下部消化管手術		講義		
心臓	13	2	心臓血管外科手術と術後管理		講義	心臓血管 外科医師	
肺	14	2	肺切除術と術後管理		講義	呼吸器外科 医師	
	15	2	終講試験		試験		
評価方法		筆記試験 100 点（放射線診断 14 点、放射線治療 14 点、麻酔 14 点、手術療法および開腹術 44 点、肺切除術 7 点、心臓血管外科手術 7 点）					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科各論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院					

授業科目	生化学		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1. 人体の生理機能を化学的に理解する。 2. 人体の構成成分である化学物質の性状、分布および代謝について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	細胞の構造と機能 代謝の基礎と酵素・補酵素	講義	非常勤講師	
	2	2	糖質の構造と機能	講義		
	3	2	糖代謝	講義		
	4	2	脂質の構造と機能 脂質代謝	講義		
	5	2	タンパク質の構造と機能 タンパク質代謝	講義		
	6	2	遺伝子と核酸	講義		
	7	2	遺伝子の複製・修復 転写と翻訳	講義		
	8	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [2] 生化学 医学書院					

授業科目	栄養学		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（管理栄養士）					
科目目標	1．人間にとっての栄養の意義を理解する。 2．ライフサイクルにおける健康的な食生活を理解する。 3．食事療法の基本を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	栄養素の種類とはたらき エネルギー消費と栄養状態の評価	講義	非常勤講師	
	2	2	食事摂取基準 食品群とその分類	講義		
	3	2	ライフステージにおける栄養	講義		
	4	2	疾患・症状別食事療法① 循環器疾患、消化器疾患、腎疾患	講義		
	5	2	疾患・症状別食事療法② 栄養代謝疾患、血液疾患、食物アレルギー、骨粗鬆症	講義		
	6	4	糖尿病の食事療法の献立作成	演習		
	7	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院 実教出版編集部編 オールガイド食品成分表 2024 実教出版 日本糖尿病学会 食品交換表 第 7 版 文光堂					

授業科目		薬理学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)		薬剤師（薬剤部部長・薬剤部副部長）					
科目目標		1．薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
	1	2	薬理学総論	講義	薬剤師		
	2	2	末梢神経系作用薬	講義			
	3	2	中枢神経系作用薬	講義			
	4	2	抗高血圧薬	講義			
	5	2	心臓作用薬	講義			
	6	2	輸液・腎臓作用薬	講義			
	7	2	血液・造血器系作用薬	講義			
	8	2	抗炎症薬	講義			
	9	2	呼吸器系作用薬	講義			
	10	2	消化器系作用薬	講義			
	11	2	ホルモン系作用薬	講義			
	12	2	生殖器系作用薬	講義			
	13	2	抗感染症薬	講義			
	14	2	抗悪性腫瘍薬	講義			
	15	1	漢方薬	講義			
	16	1	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 100 点					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学 医学書院					

授業科目	微生物学			単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	検査技師						
科目目標	1. 微生物の特徴と生体に及ぼす影響について理解する。 2. 感染に対する生体防御機構について理解する。 3. 各微生物に応じた感染予防対策を学ぶ。						
	回数	時間	授業内容		授業方法		担当講師
	1	2	微生物概論 細菌・真菌の性質、原虫・ウイルスの性質		講義		検査技師
	2	2	感染と感染症		講義		
	3	2	生体防御機構 自然免疫のしくみ、獲得免疫のしくみ		講義		
	4	2	滅菌と消毒 感染症の検査と診断		講義		
	5	2	細菌感染症		講義		
	6	2	ウイルス感染症		講義		
	7	2	真菌感染症 寄生虫		講義		
	8	1	終講試験		試験		
評価方法	筆記試験 100 点						
評価基準	60 点以上で合格						
テキスト	系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学 医学書院						

授業科目	臨床推論		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	専任教員（臨床実務経験有）					
科目目標	1．臨床推論の必要性が理解できる。 2．人体の構造と機能の知識を活用し、症候をアセスメントする力を養うことができる。 3．最適な看護を考える基礎的な力を養うことができる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当 講師	
	1	2	臨床推論の目的・方法 クリティカルシンキングと EBN	講義	専任 教員	
	2	2	事例検討：発熱	グループワーク		
	3	2	事例検討：呼吸困難①＜事例提示＞	グループワーク		
	4	2	事例検討：呼吸困難②＜情報収集・推論＞	グループワーク		
	5	2	事例検討：呼吸困難③＜発表＞	グループ発表		
	6	2	事例検討：腹痛①＜事例提示＞	グループワーク		
	7	2	事例検討：腹痛②＜情報収集・推論＞	グループワーク		
	8	2	事例検討：腹痛③＜発表＞	グループ発表		
	9	2	事例検討：意識障害① ＜事例提示 2 場面から変化を考える＞	グループワーク		
	10	2	事例検討：意識障害②＜情報収集・推論＞	グループワーク		
	11	2	事例検討：意識障害③＜発表＞	グループ発表		
	12	2	事例検討：めまい① ＜事例提示 2 場面から変化を考える＞	グループワーク		
	13	2	事例検討：めまい②＜情報収集・推論＞	グループワーク		
	14	2	事例検討：めまい③＜発表＞	グループ発表		
	15	1	まとめ	講義		
	16	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験＋課題点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	看護過程に沿った対症看護 第 5 版 病態生理と看護のポイント 学研					